

第 64 期

事業報告書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

国内線保安検査場リニューアル



ユネスコエコパーク認定
宮崎県綾町の照葉樹林をイメージ


宮崎ブーゲンビリア空港
Miyazaki Bougainvillea Airport

 **宮崎空港ビル株式会社**
MIYAZAKI AIRPORT BUILDING CO., LTD.

事業報告

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過および成果

当期における我が国経済は、社会経済活動の正常化が定着し、訪日外国人客の増加や個人消費の持ち直しに加え、大阪・関西万博の開催に伴う一定の経済波及効果もあり回復基調で推移しました。景気は緩やかに改善したものの、中東情勢の緊迫化に伴う地政学リスクや、米国トランプ政権の政策動向による不透明感から、原油価格の高騰や為替の円安基調が継続しました。これらに起因する原材料費やエネルギー価格の上昇に加え、深刻な人手不足や人件費の高騰も続いており、景気は依然として予断を許さない状況で推移しました。

航空業界においては、旺盛なインバウンド需要に牽引され、国際線の乗降客数は大幅に増加しました。国内線についても、ビジネス需要は緩やかな回復にとどまるものの、堅調な観光需要が下支えとなり、好調に推移しました。一方で、路線の需要に応じた供給体制の最適化が進められるとともに、燃油高や人件費高騰によるコスト増への対応が引き続き課題となっております。

本県においては、プロ野球・Jリーグ等のスポーツキャンプが盛況を博したほか、侍ジャパンのキャンプも開催され、多くのファンが県内外から訪れました。また、2027年の宮崎国スポ・障スポに向けた新しい競技施設の完成などにより、機運が一段と醸成され、県内の観光・宿泊需要は年間を通じて堅調に推移しました。

宮崎空港においては、台風をはじめとした自然災害等による影響がなく、国内線の乗降客数は順調に推移しました。機材の小型化により座席提供数は減少したものの、乗降客数が増加したことで、結果として前年より高い搭乗率となりました。国際線におきましては、韓国線（アジアナ）が、冬季運航において便数が減少し前年を下回ったものの、台湾線（タイガーエア）の増便などが寄与し、全体では前年を上回る実績となりました。その結果、国内線・国際線の乗降客数は以下の通りとなりました。

■宮崎空港 乗降客数対比

(単位：人)

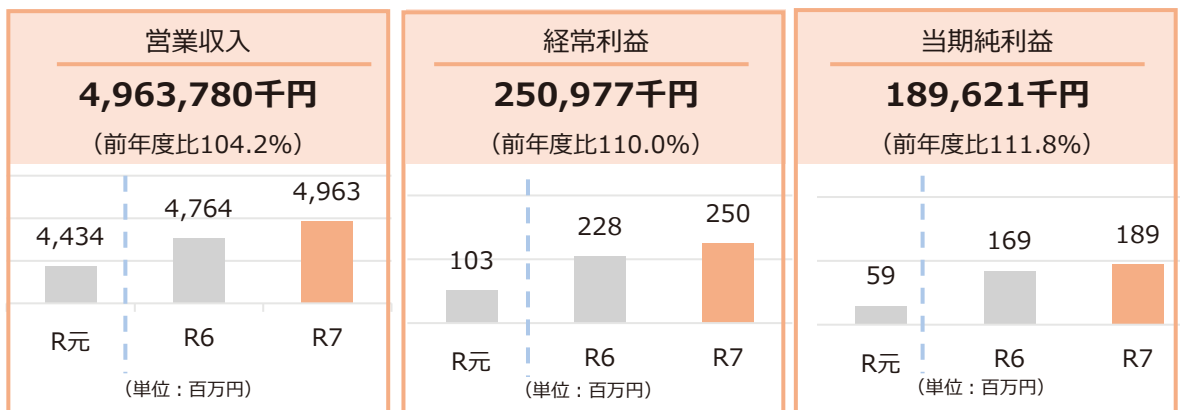
	令和7年度	令和6年度	前年度比 (増減)	令和元年度	元年度比 (増減)
国内線	3,275,046	3,110,396	105.3% (+164,650)	3,116,513	105.1% (+158,533)
国際線	89,227	68,098	131.0% (+21,129)	71,662	124.5% (+17,565)
合 計	3,364,273	3,178,494	105.8% (+185,779)	3,188,175	105.5% (+176,098)

当社におきましては、収益力の向上、保安検査場と駐車場の混雑緩和、国の政策に伴う保安体制の強化、安全・防災機能の強化、人材の確保といった重要案件に一丸となって取り組み、各種施策を着実に実行いたしました。

収益力の向上として、営業面では、商品力と集客力の強化を目的に、話題性を重視した催事や年間97回に及ぶ期間限定ポップアップストアの展開、メディアで高く評価された名物メニューの魅力発信など、独自の集客努力を重ねてまいりました。これらの付加価値の高い取り組みが、乗降客のみならず、地域のお客様に選ばれる魅力ある店づくりへと繋がったことで好調に推移しました。また、新規事業者の入居、既存店舗の好調な売上、各ラウンジの利用者増加などにより、営業収入は前年度を上回る実績を確保いたしました。一方で、エネルギー価格の高騰に伴う光熱費の上昇や、昨今の物価高、従業員の待遇改善により営業経費も増加いたしました。省エネ活動の推進や、デジタル技術の活用、業務プロセスの見直しなど多角的な効率化を推進し、徹底した原価管理のもとでコストの抑制に努めました。

保安検査場の混雑緩和に向け、3月末に保安検査場を改修し、最新の保安検査機器であるスマートレーンの導入とともに、宮崎の自然をモチーフとした癒やしの空間へと刷新し、駐車場の混雑緩和に向けては、関係機関との協議・連携を重ねた結果、本年1月に空港振興・環境整備支援機構より立体駐車場の建設計画が公表され、解決に向けた大きな一歩を踏み出しました。また、国が進める保安体制強化に伴う実施主体移行に向けましては、国管理空港の先行事例として事務委任に関する契約の合意に至りました。安全・防災機能の強化については、ターミナルビルの強靱化対策や、地元自治会のご協力のもと第7回目の津波避難訓練を実施しました。人材の確保については、働きやすい職場づくりとして、年間休日数の増加のほか、従業員満足度調査や個別面談を実施しました。それらの調査や面談を通じて抽出された課題については、次年度計画へ反映させる一方、対応可能な事案は改善を進めることで、従業員満足度の向上を図りました。

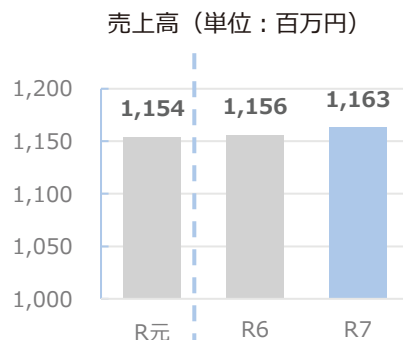
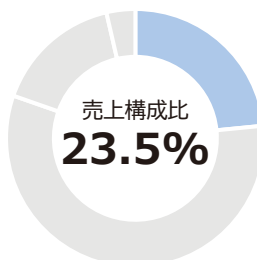
これらの結果、営業収入は4,963,780千円（前年度比104.2% +199,112千円／元年度比111.9%）、営業経費は4,755,166千円（前年度比104.6% +209,453千円／元年度比109.5%）、営業利益は208,615千円、経常利益は250,977千円で増収増益となり、当期純利益は189,621千円（前年度比111.8% +20,067千円／元年度比316.8%）となりました。



部門別の状況は次のとおりであります。

■ 貸室部門 収入前年度比100.6%

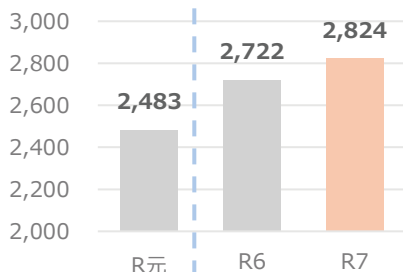
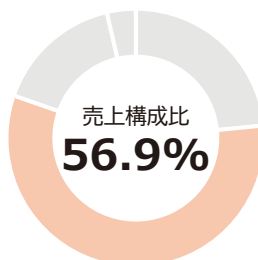
年度末の保安検査会社の変更に伴う新規入居により微増したほか、広告収入も堅調に推移しました。また、長年据え置いてきた管理費の見直しについて、協議を行い合意に至りました。次年度からの適用となっております。



■ 営業部門

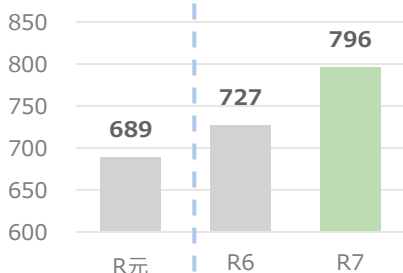
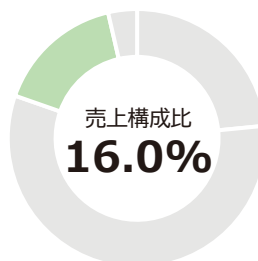
■ 販売部門 収入前年度比103.7%

話題性ある新規イベントの開催、期間限定や空港限定商品の販売、新たな地域特産品の販売などを行いました。また、魅力ある新商品の開発や、試食販売の強化、PR強化に努め、前年度を上回る増収となりました。



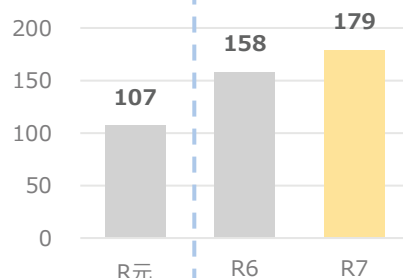
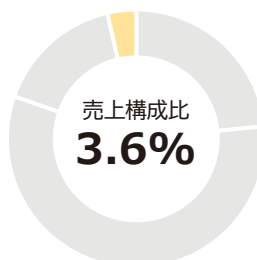
■ 飲食部門 収入前年度比109.5%

メディアでも高く評価された名物メニューや地産地消メニューの新規開発に加え、原材料高騰が続くなか、効率的な店舗運営が功を奏し、前年度を大きく上回る増収となりました。



■ 業務部門 収入前年度比113.3%

乗降客数の増加により、レンタカーやラウンジ等の手数料収入が増加しました。また、物産展や工芸品展、大根やぐら展など多彩なイベントを年間300日開催したほか、宮崎にゆかりのある作家の個展を毎月開催し、本県の魅力発信や空港への集客に努めました。



(売上高構成比100=4,963百万円)

■ 地域活性化部門

地域活性化部門では、行政や関係団体等と連携しながら、スポーツチームなどの歓迎セレモニーを年間を通して実施したほか、「都城志布志道路開通記念展」や「ポケモンカード大会」、「防災展」など、観光から防災に至るまで幅広く情報発信するイベントを開催しました。空港発のバスツアーを本年は10回催行し、318名の方に参加をいただきました。都城高専との包括連携協定については、ワシントンアパームの剪定ロボットの研究開発に引き続き取り組んだほか、昨年9月にはインターンシップとして学生を受け入れました。また、本年3月には、同校主催のビジネスプランコンテストを初めてオアシス広場で開催し、空港を利用する皆様にも都城高専の取組を発信することができました。今後も、未来を担う学生と連携したプロジェクトに積極的に取り組んでまいります。

■ 施設部門

施設部門では、令和6年の日向灘地震をふまえたターミナル強靱化5ヶ年計画の初年度として、屋上西側高架水槽更新や配管の振れ止めなど、漏水対策を重点とした耐震補強に加え、施設の保守点検ならびに維持管理を計画的に実施しました。スマートレーン導入に伴う保安検査場の改修は、検査業務の運用と工事を並行して行うこととなりましたが、計画通り実施し大きな問題なく完了することができました。環境面におきましては、毎月25日を省エネの日とした社内啓蒙活動を空港全体に広げ、社外講師を招いた講演会の開催や利用実績の共有等により、空港関係者が一体となって省エネ意識の向上に取り組ましました。

（２）対処すべき課題と今後の展望

当社の今後の課題としましては、乗降客数の変動に左右されにくい安定的な収益構造への転換と、今後の経済環境を見据えた安定した経営基盤の構築が挙げられます。その背景には、昨今の物価高騰やエネルギー価格の上昇に伴う営業経費の増加、さらには深刻化する人手不足やそれらに伴う人件費の増加など、直面している様々な環境変化があります。この課題に対処し、持続的な成長を遂げるため、中期経営計画を策定いたしました。目指すべきビジョン「これからも地方であっても“きらり”と光る空港を目指す」の実現に向け、①利用者や県民の期待を超える満足度の高い空港、②地域に対して新たな価値を提供し続ける空港、③やりがいや魅力があり誇りを持てる企業、④強固な経営基盤を有する企業の4つの方針を定めております。初年度となる令和8年度におきましては、これらの方針のもと、足元の喫緊の課題から中長期的な取り組みまで着実に推進してまいります。

利用者の利便性向上に向け、国や関係機関と連携し、引き続き空港全体の環境整備や混雑緩和に努めてまいります。さらに必要な人材確保に努め、2027年の宮崎国スポ・障スポを見据えた教育や研修を充実させることで、受け入れ体制を整えてまいります。中長期的には新規路線の開拓や既存路線の拡充を関係機関と連携して充実を図ることで、満足度の高い空港を目指してまいります。

大規模自然災害の備えとしては、防災拠点としての安全・安心を提供するため、ターミナル強靱化5ヶ年計画の2年目として高架水槽の更新や、配管の耐震補強工事を計画的に進めてまいります。また、地域と連携し「神楽」のユネスコ無形文化遺産登録への機運を高める取り組みや、「宮崎花旅365」を通じた景観の魅力発信などにより、地域に対して新たな価値を提供し続けてまいります。

働きやすい職場づくりの整備に向けては、従業員満足度調査や個別面談を実施し、現場の声に寄り添った施策を実行することで、誰もが長く安心して働ける環境を整え、やりがいと魅力を感じ、誇りをもって活躍できるよう、取り組んでまいります。

持続可能な経営体制の構築に向けては、収益構造の改革として3階直営飲食店の一部テナント化の計画を進め、固定費の適正化と安定した賃料収入の確保を図ってまいります。保安検査業務につきましては、新設した施設部保安管理課を中心に確実に対応し、当社の新たな事業の柱として確立させてまいります。あわせて、物価高騰などに対しては、省エネ活動やDX化による省人化・効率化を推進することで経費の抑制を図り、強固な経営基盤を構築してまいります。

なお、空港民営化の動向につきましても、引き続き情報収集と研究に努めてまいります。

最後になりますが、私どもでは「おもてなしは最大の観光資源」をモットーに、「まだまだ、ニコニコ、一歩ずつ」を行動指針として、役職員一同が一丸となってしっかりと取り組んでまいります。また、コンプライアンスおよびガバナンスの実効性を高める取り組みを継続し、健全で信頼される企業運営に努めてまいります。今後とも快適な空間の提供や地域の活性化に努め、県民の皆様へ信頼される会社を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（参考）令和8年度の見通し

令和8年度におきましては、宮崎空港の乗降客数は国内線・国際線ともに着実な増加が見込まれております。国内線につきましては、需要の定着に支えられ堅調に推移することが期待されており、2027年の宮崎国スポ・障スポの開催に向けた県内の観光・交流需要の拡大も見込まれます。国際線においては、引き続き旺盛なインバウンド需要に支えられ、堅調な利用継続を見込んでおります。

こうした環境のもと、安全・安心な受け入れ体制の定着や、施設の有効活用を通じて営業収入の安定的な確保を図ってまいります。さらに、諸経費につきましても、引き続き省電力・省人化による効率的な運営を継続し、経費抑制に努めてまいります。これらの取り組みにより、来期も増収増益を目指してまいります。

◆令和8年度乗降客数の見込み

＜国内線＞ 3,340千人（前年度比102.0％）

＜国際線＞ 91千人（前年度比102.5％）

合 計 3,431千人（前年度比102.0％）

(参考) 乗降客資料

【宮崎空港状況】

1. 国内線

(1) 路線別の状況

	令和7年度	増減	前年度比	元年度比
羽 田	1,550,224 人	55,348 人	103.7%	104.7%
成 田	124,631 人	10,070 人	108.8%	90.2%
東 京 計	1,674,855 人	65,418 人	104.1%	103.4%
伊 丹	680,651 人	41,772 人	106.5%	113.1%
関 空	100,451 人	▲1,030 人	99.0%	86.6%
大 阪 計	781,102 人	40,742 人	105.5%	108.8%
福 岡	511,529 人	33,165 人	106.9%	95.7%
名 古 屋	209,658 人	20,366 人	110.8%	133.2%
沖 縄	96,379 人	4,882 人	105.3%	113.1%
チャーター及び 臨時便	1,523 人	77 人	105.3%	68.0%
合 計	3,275,046 人	164,650 人	105.3%	105.1%

(2) 航空会社別の状況

	ANA	JAL	リゾルトIA	LCC計	合計
乗降客数 (前年度比) (元年度比)	1,216千人 (106.7%) (99.1%)	1,004千人 (103.5%) (104.6%)	827千人 (105.8%) (122.9%)	225千人 (104.1%) (88.5%)	3,275千人 (105.3%) (105.1%)
座席数 (前年度比) (元年度比)	1,617千席 (101.6%) (88.5%)	1,249千席 (94.2%) (90.0%)	1,140千席 (101.3%) (111.2%)	269千席 (103.4%) (94.7%)	4,277千席 (99.4%) (94.7%)
利用率 (前年実績) (元年実績)	75.2% (71.6%) (68.1%)	80.4% (73.2%) (69.1%)	72.6% (69.5%) (65.6%)	83.4% (82.9%) (84.2%)	76.6% (72.3%) (69.0%)

※上記数値には、国際線の乗降客は含まれておりません。

※ANAについては、本年のORC乗降客数226千人、座席提供数313千席を含めた実績で計上いたしております。

※LCC計は、Pea chとジェットスターの合算となっております。

※チャーター便：FDA乗降客数516人、座席提供数672席、利用率76.8%

2. 国際線

	令和7年度	増減	前年度比	元年度比
韓国定期便	58,180 人	▲3,343 人	94.6%	115.5%
台湾定期便	30,764 人	24,964 人	530.4%	146.6%
チャーター及び臨時便	283 人	▲492 人	36.5%	90.7%
合 計	89,227 人	21,129 人	131.0%	124.5%

※韓国定期便（アジアナ航空） 週3便（1/1～3/28 週7便）
台湾定期便（タイガーエア） 週2便

3. 九州空港の乗降客数

空港名	国内線	前年度比 (元年度比)	国際線	前年度比 (元年度比)	合計	前年度比 (元年度比)
福岡	19,442,306 人	104.5% (110.6%)	9,382,660 人	110.3% (171.5%)	28,824,966 人	106.3% (125.1%)
那覇	19,320,130 人	104.5% (110.6%)	4,139,972 人	128.6% (131.5%)	23,460,102 人	108.1% (113.8%)
鹿児島	5,660,924 人	102.3% (104.0%)	265,592 人	139.9% (81.2%)	5,926,516 人	103.5% (102.7%)
熊本	3,168,955 人	99.9% (101.9%)	641,964 人	134.8% (565.6%)	3,810,919 人	104.5% (118.2%)
宮崎	3,275,046 人	105.3% (105.1%)	89,227 人	131.0% (124.5%)	3,364,273 人	105.8% (105.5%)
長崎	3,196,123 人	105.7% (103.4%)	69,680 人	172.7% (104.2%)	3,265,803 人	106.5% (103.4%)
大分	1,859,164 人	105.7% (104.2%)	109,715 人	113.4% (217.5%)	1,968,879 人	106.1% (107.3%)
北九州	1,122,027 人	105.1% (81.5%)	129,366 人	97.6% (57.4%)	1,251,393 人	104.2% (78.2%)
佐賀	480,880 人	102.4% (82.6%)	158,700 人	122.4% (106.7%)	639,580 人	106.8% (87.5%)

(3) 設備投資の状況

当期において実施した設備投資の総額は957,659千円(うち国庫金補助金は328,693千円)であります。
その主な内容は以下の通りです。

- ①保安検査場改修工事
- ②スマートレーン導入(2基)
- ③屋上高架水槽更新工事

(4) 資金調達の状況

当期は設備投資資金を金融機関より700,000千円調達しました。
借入金の返済につきましては、当初の計画通り実施しました。
結果、当期末の有利子負債残高は、長期借入金2,869,400千円、短期借入金220,000千円、
合計3,089,400千円となりました。

(5) 財産及び損益の状況の推移

区 分	第61期	第62期	第63期	第64期
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (当 期)
売 上 高 (千 円)	3,816,556	4,484,230	4,764,668	4,963,780
当 期 純 利 益 (千 円)	125,315	142,192	169,554	189,621
一株当たり当期純利益(円)	6,265.72	7,109.63	8,477.70	9,481.07
総 資 産 (千 円)	8,398,741	8,533,751	8,292,427	8,692,960
純 資 産 (千 円)	4,153,129	4,459,874	4,346,702	4,567,240

(6) 主要な事業内容および事業所 (令和8年3月31日現在)

1) 主要な事業内容

- ①貸 室 業 航空会社並びに売店・飲食業のテナント
- ②売 店 土産品および酒、煙草販売
- ③レストラン

2) 事業所

本社 宮崎県宮崎市大字赤江宮崎空港内

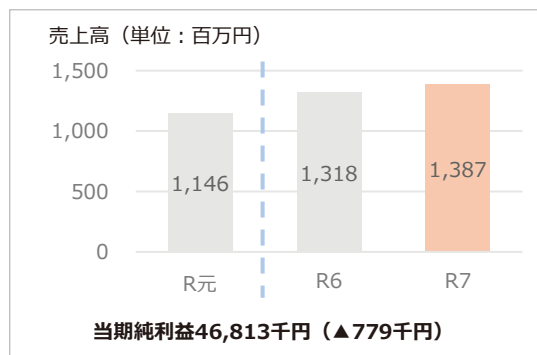
(7) 従業員の状況 (令和8年3月31日現在)

区 分	人 数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続年数
正社員及び 契約社員	102名	10名	34.0歳	9.8年
嘱託社員及び パート・アルバイト	194名	▲32名	46.9歳	6.7年
合 計	296名	▲22名	42.5歳	7.8年

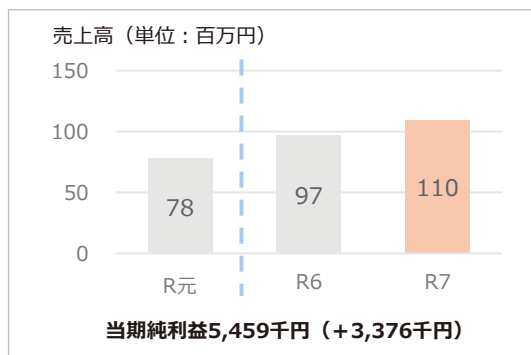
(8) 重要な子会社の状況 (令和8年3月31日現在)

会社名	資本金	持株比 率	主な事業内容	従業員の状況 (前年増減)
宮崎空港商事 株式会社	10,000 千円	100%	1. 土産品卸売業及び各種商品 の製造、販売 2. 売店及び飲食店の経営	正社員 8名 (+1名) 契 約 2名 (+1名) アルバイト 1名 (▲3名) 合 計 11名 (▲1名)
株式会社 味のガンジス	10,000 千円	100%	1. レストランの経営 <宮交シティ2階> カレー専門店「味のガンジス」 2. 加工品の販売	正社員 0名 (±0名) 嘱 託 0名 (±0名) アルバイト 6名 (▲2名) 合 計 6名 (▲2名)

■宮崎空港商事株式会社



■株式会社味のガンジス



(9) 主要な借入先 (令和8年3月31日現在)

借入先	借入金残高
株 式 会 社 宮 崎 銀 行	1,732,440千円
株 式 会 社 宮 崎 太 陽 銀 行	1,156,960千円
株 式 会 社 日 本 政 策 投 資 銀 行	200,000千円

2. 株式に関する事項（令和8年3月31日現在）

（1）発行可能株式総数 30,000 株

（2）発行済株式総数 20,000 株

（3）株 主 数 21 名

（4）大 株 主（上位11名）

株主名	持株数	議決権比率
宮 崎 交 通 株 式 会 社	7,865株	39.3%
A N A ホールディングス株式会社	4,000	20.0
株 式 会 社 宮 崎 銀 行	1,000	5.0
宮 崎 県	1,000	5.0
日 本 航 空 株 式 会 社	700	3.5
宮 崎 市	600	3.0
恒 吉 宏 三 郎	560	2.8
九 州 電 力 株 式 会 社	500	2.5
株 式 会 社 宮 崎 放 送	500	2.5
旭 化 成 株 式 会 社	500	2.5
フ ェ ニ ッ ク ス リ ゾ ー ト 株 式 会 社	500	2.5

（5）株式の移動

当期中における株式の移動はございません。

3. 会社の役員に関する事項（令和8年3月31日現在）

取締役及び監査役の状況

地 位	氏 名	担当または主な職業	
代 表 取 締 役 社 長	永山 博康	統括・常務会議長	ＣＳ・コンプライアンス担当
専 務 取 締 役	下沖 忠広	社長補佐	財務・経理担当
常 務 取 締 役	木村 剛啓	施設・危機管理担当	
常 務 取 締 役	大久保 政彦	業務部・グループ関連担当	
常 務 取 締 役	藤本 誠一	営業部担当	兼 営業部長
常 務 取 締 役	前田 剛宏	総務部担当	兼 経営戦略室室長
取 締 役 業 務 部 長	松野 義直	業務部・地域活性化担当	
取 締 役	日隈 俊郎	宮崎県副知事	
取 締 役	清山 知憲	宮崎市長	
取 締 役	渡邊 俊隆	宮交ホールディングス株式会社	代表取締役社長
取 締 役	吉本 宗史	全日本空輸株式会社	宮崎支店 支店長
取 締 役	高橋 麻貴	日本航空株式会社	宮崎支店 支店長
監 査 役	杉田 浩二	株式会社宮崎銀行	代表取締役頭取
監 査 役	黒木 浩	株式会社宮崎太陽銀行	代表取締役頭取

（注） 1. 取締役日隈俊郎氏、清山知憲氏、渡邊俊隆氏、吉本宗史氏、高橋麻貴氏は、社外取締役であります。
2. 監査役杉田浩二氏、黒木浩氏は、社外監査役であります。

貸 借 対 照 表

(令和8年3月31日現在)

資 産 の 部			負 債 の 部		
科 目	金 額		科 目	金 額	
	千円	千円		千円	千円
流 動 資 産		1,283,187	流 動 負 債		1,301,245
現金・預金	448,974		短期借入金	220,000	
売掛金	277,767		1年以内返済予定の長期借入金	330,120	
売店商品	58,212		買掛金	491,999	
食堂材料	12,305		未払費用	104,083	
貯蔵品	9,290		未払法人税等	5,602	
雑流動資産	51,736		未払消費税等	28,118	
未収収益	338,814		預り金	25,220	
未収消費税	85,436		前受収益	54,202	
未収還付法人税等	1,066		賞与引当金	16,350	
貸倒引当金	△ 416		役員賞与引当金	12,600	
			リース債務	12,948	
固 定 資 産		7,409,773	固 定 負 債		2,824,474
有形固定資産	(5,242,575)		長期借入金	2,539,280	
建物	3,146,010		退職給付引当金	138,769	
建物付属物	1,272,768		役員退職慰労引当金	112,176	
構築物	23,815		預り保証金	21,961	
機械装置	376,266		リース債務	12,286	
什器備品	93,168		負債の部合計		4,125,720
車両運搬具	0		純 資 産 の 部		
庭園	4,261		株 主 資 本		3,417,493
土地	303,333		資 本 金		200,000
リース資産	22,951		資本金	200,000	
無形固定資産	(11,006)		利 益 剰 余 金		3,217,493
ソフトウェア	10,483		利益準備金	50,000	
その他の無形固定資産	522		その他利益剰余金	(3,167,493)	
投資その他の資産	(2,156,191)		施設改修積立金	1,500,000	
投資有価証券	1,916,535		任意積立金	1,350,000	
子会社株式	10,000		繰越利益剰余金	317,493	
出資金	229,655		評価・換算差額等		1,149,746
			その他有価証券評価差額金	1,149,746	
資産の部合計		8,692,960	純資産の部合計		4,567,240
			負債・純資産の部合計		8,692,960

(注) 1. 子会社に対する短期金銭債権 296千円

2. 子会社に対する短期金銭債務 77,309千円

3. 有形固定資産の減価償却累計額 12,527,698千円

4. 担保に供している資産 84,120千円

損 益 計 算 書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

科 目	金 額		
	収 入	支 出	損 益
貸 室 収 入	千円 1,163,213	千円	千円
売 上 収 入	3,621,454		
使用料及び手数料収入	179,111		
営 業 収 入 計	4,963,780		
売 上 原 価		2,324,879	
人 件 費		1,016,819	
諸 経 費		1,045,989	
償 却 費		367,477	
営 業 経 費 計		4,755,166	
営 業 損 益			208,615
受 取 利 息	804		
その他の営業外収入	78,827		
営 業 外 収 入 計	79,630		
支 払 利 息		36,464	
その他の営業外支出		805	
営 業 外 経 費 計		37,269	
営 業 外 損 益			42,361
経 常 利 益			250,977
特 別 利 益			
国庫補助金受贈益	350,418		
計	350,418		
特 別 損 失			
固定資産圧縮損失		328,693	
雑 損 失		49,609	
計		378,302	
税引前当期純利益			223,092
法人税・住民税及び事業税			33,471
当 期 純 利 益			189,621

- (注) 1. 子会社に対する売上高 6,859 千円
2. 子会社からの仕入高 892,740 千円
3. 1株当たりの当期純利益 9,481.07円

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

当会計期間（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

（単位：千円）

		株 主 資 本							評価・換算 差額等	純 資 産 の 部 合 計
		資 本 金	利 益 剰 余 金					株 主 資 本 合 計		
			利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金			利 益 剰 余 金 合 計			
				施 設 改 修 積 立 金	任 意 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金				
当 期 首 残 高		200,000	50,000	1,500,000	1,250,000	247,872	3,047,872	3,247,872	1,098,830	4,346,702
当 期 変 動 額	任意積立金				100,000	△ 100,000	—	—		—
	株主配当金					△ 20,000	△ 20,000	△ 20,000		△ 20,000
	当期純利益					189,621	189,621	189,621		189,621
	株主資本以外の項目								50,915	50,915
当期変動額合計		—	—	—	100,000	69,621	169,621	169,621	50,915	220,537
当 期 末 残 高		200,000	50,000	1,500,000	1,350,000	317,493	3,217,493	3,417,493	1,149,746	4,567,240

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項

(1)有価証券の評価基準および評価方法

① 子会社株式……………移動平均法による原価法。

② その他の有価証券

市場価格のあるもの……………期末日の市場価格等に基づく時価法。

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、

売却原価は移動平均法により算定)

市場価格のないもの……………移動平均法による原価法。

(2)棚卸資産の評価基準および評価方法

製品、原材料、仕掛品……………先入先出法による原価法。

(3)固定資産の減価償却の方法

① 建物

平成10年3月31日以前に取得したもの……………法人税法に規定する旧定率法。

平成10年4月1日以後平成19年3月31日以前に取得したもの

……………法人税法に規定する旧定額法。

平成19年4月1日以後に取得したもの……………法人税法に規定する定額法。

② 建物付属設備及び構築物

平成19年3月31日以前に取得したもの……………法人税法に規定する旧定率法。

平成19年4月1日以後平成24年3月31日以前に取得したもの

……………法人税法に規定する定率法(250%定率法)。

平成24年4月1日以後平成28年3月31日以前に取得したもの

……………法人税法に規定する定率法(200%定率法)。

平成28年4月1日以後に取得したもの……………法人税法に規定する定額法。

③ 建物、建物付属設備及び構築物以外の有形固定資産(リース資産除く)

平成19年3月31日以前に取得したもの……………法人税法に規定する旧定率法。

平成19年4月1日以後平成24年3月31日以前に取得したもの

……………法人税法に規定する定率法(250%定率法)。

平成24年4月1日以後に取得したもの

……………法人税法に規定する定率法(200%定率法)。

④ 無形固定資産(リース資産除く)……………法人税法に規定する定額法。

⑤ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係わるリース資産

……………リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法。

(4)引当金の計上基準

- ①貸倒引当金・・・・・・・・・・ 売上債権、貸付金等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上。
- ②賞与引当金・・・・・・・・・・ 従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額基準による当事業年度末の負担額を計上。
- ③役員賞与引当金・・・・・・・・ 役員の賞与の支給に備えるため、支給見込み額を計上。
- ④退職給付引当金・・・・・・・・ 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき計上。
- ⑤役員退職慰労引当金・・・・・・・・ 役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額を計上。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の総数に関する事項

株 式 の 種 類	前 事 業 年 度 末 の 株 式 数	当 事 業 年 度 増 加 株 式 数	当 事 業 年 度 減 少 株 式 数	当 事 業 年 度 末 の 株 式 数
普通株式	20,000株	－ 株	－ 株	20,000株

(2) 剰余金の配当に関する事項

① 配当金総額

令和7年6月20日開催の第63回株主総会において、次のとおり決議されました。

決 議	株 式 の 種 類	配 当 金 の 総 額	配当の原資	1株当たり の配当額	基 準 日	効 力 発 生 日
令和7年6月20日 第63回定時株主総会	普通株式	20,000千円	利益剰余金	1,000円	令和7年 3月31日	令和7年 6月23日

② 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

令和8年6月19日開催の第64回株主総会において、次のとおり付議いたします。

決 議	株 式 の 種 類	配 当 金 の 総 額	配当の原資	1株当たり の配当額	基 準 日	効 力 発 生 日
令和8年6月19日 第64回定時株主総会	普通株式	20,000千円	利益剰余金	1,000円	令和8年 3月31日	令和8年 6月22日

3. その他の注記

端数処理の方法・・・・・・・・記載の金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

監査報告書

私たち監査役は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの第64期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会及びその他の重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示していると認めます。

令和8年5月22日

宮崎空港ビル株式会社

監査役 杉田 浩二 (印)

監査役 黒木 浩 (印)

宮崎空港ビル株式会社

代表取締役社長	株主総会・取締役会・常務会議長 CSコンプライアンス担当	永山博康
専務取締役	社長補佐 財務・経理担当	下沖忠広
常務取締役	施設・危機管理担当	木村剛啓
常務取締役	営業部担当 兼 営業部長	藤本誠一
常務取締役	総務部担当 兼 経営戦略室長	前田剛宏
取締役業務部長	業務部・地域活性化担当	松野義直
取締役	宮崎空港商事(株) 代表取締役社長	大久保政彦
取締役	宮崎県副知事	日隈俊郎
取締役	宮崎市長	清山知憲
取締役	宮交ホールディングス(株) 代表取締役社長	渡邊俊隆
取締役	全日本空輸(株)宮崎支店 支店長	吉本宗史
取締役	日本航空(株)宮崎支店 支店長	高橋麻貴
監査役	(株)宮崎銀行 代表取締役頭取	杉田浩二
監査役	(株)宮崎太陽銀行 代表取締役頭取	黒木浩

(令和8年6月19日現在)



■ 宮崎空港ビルの使命・役割

～楽しい旅とくらしのお手伝い～

当社は、空の玄関として、航空機を利用されるお客様を次の目的地へ、安全かつ迅速にお送りするとともに、快適な空間を提供し、あわせて航空業界の発展に寄与していくことを使命とする。さらに、地方空港として、宮崎の文化や観光、経済の情報を発信し、地域社会の発展に努めていく役割を担っている。

■ 経営理念

- ・ 当社の使命・役割を果たす為に、積極的な事業展開を行い、健全経営に努めます。
- ・ 地域の発展に積極的に取り組み、県民の皆様に愛され、信頼される企業を目指します。
- ・ 「おもてなしは最大の観光資源」との想いを継承し、日本一のおもてなし空港を目指します。
- ・ 社員を大切にし、一人ひとりが夢を持てる、明るい企業を目指します。

■ 行動指針

～まだまだ、ニコニコ、一歩ずつ。～

私たちは、県民の皆様に代わって、お客様をお迎えする立場であることを自覚し、いつも「お陰様で、ありがとうございます」という感謝の気持ちを、お客様に感じていただける接客に努めます。

- ・ 私たちは、安全安心のサービス提供のため、徹底した安全管理・衛生管理に努めます。
- ・ 私たちは、いつも明るい笑顔と感謝の心をもってお客様の心に残る一歩先のおもてなしに努めます。
- ・ 私たちは、お客様の声を最も重要視し、どんな小さなことでも全て報告します。
- ・ 私たちは、お取引をいただいている皆様に、常に感謝の気持ちをもって接します。
- ・ 私たちは、より高い目標を持ち、常に背伸びをして、自己能力の向上に挑戦します。
- ・ 私たちは、サービスのプロとして、社員同士がお互いに注意しあえる職場づくりを目指します。

宮崎空港ビル令和7年度の取り組み

スマートレーン運用開始

3月25日より、最新の保安検査システムである「スマートレーン」を国管理の地方空港で初めて導入いたしました。今回の導入により、複数のお客様が同時に検査準備を行えるようになるほか、これまで手荷物から取り出していたパソコンやスマートフォン等の電子機器、およびペットボトルなどの液体物を取り出さずに検査を受けることができ待ち時間の短縮とスムーズな検査通過が可能となります。検査場内につきましても「森の木漏れ日」をテーマに、温もりと安らぎを感じていただける空間を演出しており、ストレスを軽減し、リラックスして検査を受けていただけるようにいたしました。



花のあるまちづくりへの取り組み

宮崎花旅 365 推進協議会事務局移行

5月30日(金)に開催された宮崎花旅365推進協議会総会において、宮崎空港ビルを事務局として新たに「宮崎花旅365」の活動をスタートさせることが決まりました。宮崎の大地をこよなく愛した岩切章太郎氏の想いを受け継ぎ、宮崎の景観づくりと「花旅365」のPRに努めてまいります。

宮崎花旅365とは

令和元年に国土交通省が創設した「ガーデンツーリズム登録制度」において、
登録されている取り組みです！



365 日花のある宮崎展

5月10日(土)～6月1日(日)
オアシス広場

宮崎の花の名所や宮崎花旅365推進協議会の活動を紹介するイベントを開催し、構成機関の皆様と一丸となって「花旅365」の魅力をPRしました。



第27回ブーゲンビリア 500鉢プレゼント抽選会

5月24日(土)
オアシス広場

地域の皆様へ日ごろの感謝の気持ちを込めて、今年もブーゲンビリア500鉢プレゼント抽選会を開催しました。666名の皆様にご参加いただき、イベントを楽しんでいただくことができました。



第10回親子で作るブーゲンビリアの 盆栽づくり講座

7月5日(土)
オアシス広場

約700組のご応募の中から抽選で選ばれた50組(約100名)の方々にご参加いただきました。グリーンキーパーの指導の下、盆栽づくりを楽しんでいただき、ブーゲンビリアの魅力を感じていただくことができました。



新規イベント等紹介

都城志布志道路開通記念展

4月4日(金)～4月20日(日)

オアシス広場

3月23日に都城志布志道路が全線開通したことを記念して、宮崎空港ビルでは宮崎、鹿児島両県の関係市町のPRイベントを実施しました。今後もイベントの開催や情報発信を行い、宮崎空港から南への誘客に努めてまいります。



東海・みやぎき空旅フェア

9月27日(土)・28日(日)

オアシス広場

「宮崎－中部」路線と東海地方の魅力を発信する初のイベントを宮崎空港で実施しました。ヒムカイザーやゆるキャラによるステージイベント、お菓子がもらえるクイズラリーなどが行われ、多くのお客様で賑わいました。宮崎空港公式キャラクター「クーゴ君」も登場し、お子様にも喜んでいただきました。



宮崎空港発バスツアー

宮崎空港発のバスツアーを10回実施し、318名の方にご参加いただきました。新たなツアーとして、都城志布志道路が全線開通したことを記念した大隅地方へのツアーを2回実施したほか、日向ひよっこ祭りに参加するツアーなどを開催いたしました。そのほか花旅365主催の季節ごとの花旅バスツアーや神楽を鑑賞するツアー、航大・カーフェリー、防災救急航空センターと協力した親子向けのツアーなども実施し、参加者の皆様に喜んでいただきました。



5月17日(土) こどものくにバラ園



1月24日(土) 防災救急航空センター

宮崎フーゲンビリア空港



オリジナル商品のご紹介



JAL国際線機内食に採用された宮崎和牛カレーを
ベースにゴロゴロお肉とスパイシー感をプラス、
美味しさ・満足度パワーアップ!



宮崎和牛 ゴロゴロカレー



宮崎空港カレーシリーズ



ガンジス 宮崎和牛 宮崎黒豚

1箱 (180g) **1,000円**

ガンジスカレー

【ガンジス・宮崎和牛・宮崎黒豚】

1箱 各 **550円**



夢かぐら オリジナル

冷や汁

1袋

2袋箱入

540円 1,080円

※1袋はお茶碗2杯分です。



繊細な甘みの芋

本格芋焼酎 毫貯蔵

芳醇な香りとコクの麦

本格麦焼酎 長期熟成貯蔵

豊潤な甘みのそば

本格そば焼酎 全量そば

宮崎空港限定
三種の本格焼酎

アルコール度数数三十三度。芋、麦、そば。



空港シェフ特製
日向夏ドレッシング
●220ml **600円**

宮崎県産の日向夏みかん
を使用した爽やかな
ドレッシングです。

ひむか燦々 (さんさん)【芋・麦・そば】●720ml ●33度 各 **3,300円**

宮崎の本格焼酎は、材料が多様性に富んでおります。
それぞれの特徴を活かした「甕貯蔵の芋」「長期熟成の麦」
「全量そば」による三種の味わいをお楽しみください。

※表示価格はすべて税込価格です。

お酒の前に、小粒で飲みやすい！
4種のウコン効果！



おんでも吞まれない♡



ニシタチレジェンド

●1袋(6包入)

1,100円

